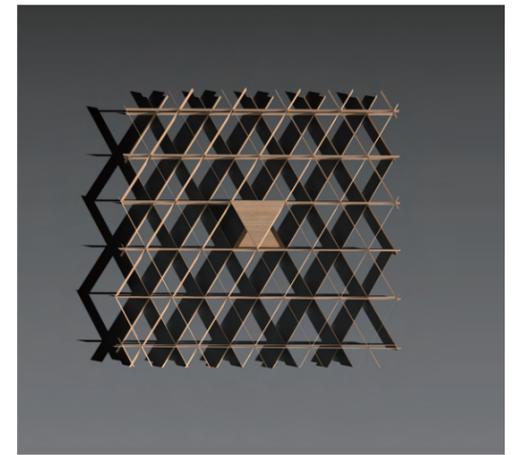
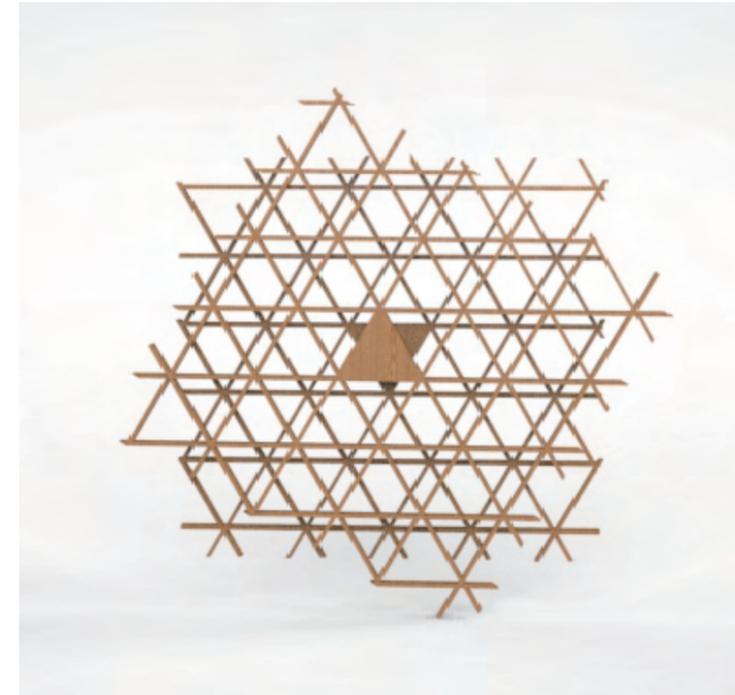
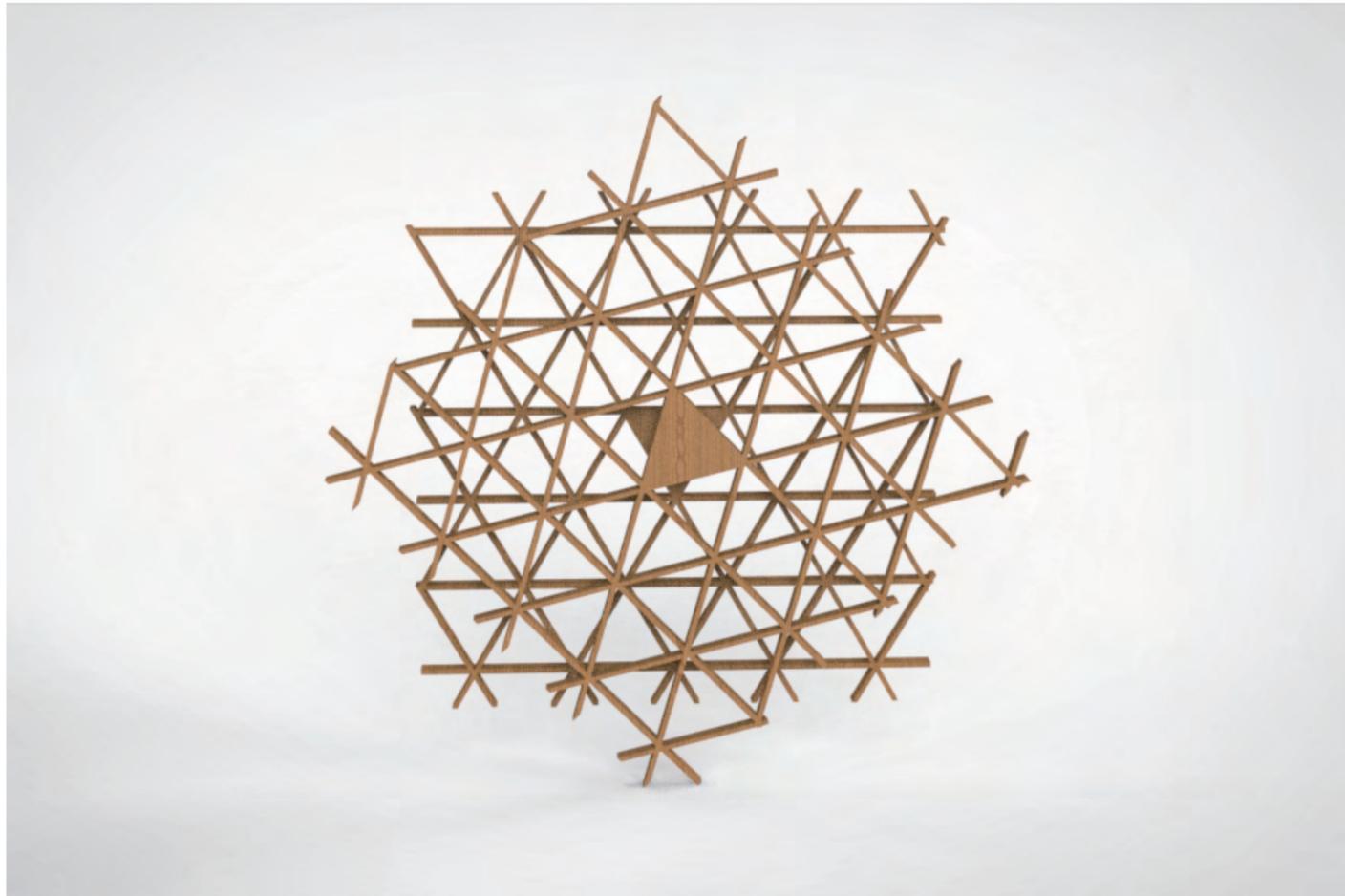


# とき くみ 時の組

新たな紋様が生み出す穏やかな時間の揺らぎ  
組子時計の提案

多摩美術大学 プロダクトデザイン専攻 2年 3studio 山口空音

組子が回転することで織りなす紋様が穏やかな時間を感じさせる。時針、分針の二層のレイヤーによってこれまでに無かった紋様を生み出し、回転軸の中心をずらす事で360度同じ柄を生み出さない。シンプルな三組手を用いることで複雑な印象を与えすぎないようなデザインを意識して制作した。



初期位置の揃った状態からの動きで胡麻柄や竜胆柄のような模様を生み出す。幾度もの試行錯誤から辿り着いた形だ。寸分狂わない精密さがより美しさを引き立てる。

素材：杉

製品寸法：300×300×1.2（2枚）

